

(記入例)

様式1表

アレルギー疾患生活管理指導表(食物アレルギー・アナフィラキシー)

提出日 平成 年 月 日

名前 _____ 男・女 平成 年 月 日生(歳 ヶ月) _____ 組(歳児クラス) 園名 _____

保護者が記入

この生活管理指導表は幼稚園、保育所等の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に限り作成するものです。

病型・治療		幼稚園、保育所等での生活上の留意点		緊急連絡 ★保護者氏名: 電話(続柄) ① ② ★連絡医療機関 医療機関名:
A. 食物アレルギー病型(食物アレルギーありの場合のみ記載) 1. 食物アレルギーの関与する乳児アトピー性皮膚炎 2. 即時型 3. その他(新生児消化器症状・口腔アレルギー症候群・食物アレルギー性鼻炎・その他)		A-1給食・離乳食 1. 管理不要 2. 保護者と相談し決定 A-2アレルギー用調製粉乳 1. 不要 2. 必要 下記該当ミルクに○、又は()何記入 ミルフィー・ニューMA-1・MA-mi・ペプディエット エレメンタル		
B. アナフィラキシー病型(アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載) 1. 食物(原因) _____) 2. その他(医薬品・食物依存性運動誘発アナフィラキシー・ラテックスアレルギー・昆虫アレルギー) _____)		A-3病型・治療該当する場 1. 鶏卵 2. 牛乳・乳 3. 小麦 6. 大豆 7. ゴマ 12. 魚類 13. 肉類		
C. 原因食物・除去・診断根拠 該当する食品の番号に○をし、かつ()内に除去・診断根拠を記載 _____) _____) 1. 鶏卵 _____) ③IgE抗体等検査結果陽性 食物アレルギーは一般的に血液検査だけで正しく診断することはできないため実際に起きた症状と食物負荷試験などの専門的な検査結果を組み合わせることで医師が総合的に診断する。従って血液検査のデータ等を記載する必要はない。 また、幼稚園や保育所等が血液検査のデータ等を医療機関へ求めることはしないものとする。 ④未摂取について 低年齢児ではまだ与えないような食物に対しては診断根拠を書けない場合(未確定、これから検討する予定)も乳児期から幼児期早期には想定される。それらの子どもに対して離乳食等を進めていく場合に未摂取のものに関して除去根拠は未摂取として記載する。単に保護者や本人の希望によるものではない。		B. 食物・食材 1. 管理不要 C. 運動など 1. 管理不要 D. 宿泊を伴う 1. 管理不要 E. その他の配慮		
①明らかな症状の既往 ②食物負荷試験陽性 ③IgE抗体検査陽性 ④未摂取 食物、食材を扱う活動とは小麦粉粘土、豆まき、牛乳パックを使用した工作等。		記載してある食品以外に該当する食品がある場合は()内に記載する。		
●幼稚園、保育所等における日常の取り組み及び緊急時の対応に活用するため、本表に記載された内容と関係者全体で共有				

食物アレルギー(あり・なし)アナフィラキシー(あり・なし)